

十四時間体制で監視。外部の社員が作成した「フライ」の恐れがある場合に「顧客名簿」「売上上げデータ」「会議録」は、顧客企業に通報する。といった企業側が設定したキーワードを付けると監視の対象となる。メールや、「ウィニー」パソコン一台あたりの費用は導入時に千七百八十五円かかり、サービス



キタムラは十日から好みの写真やロゴを生地にプリントできるTシャツの品ぞろえを増やす。従来は白い生地に写真をプリントする一種類だけだったが、写真を二十六種類のデザインと組み合わせられるシャツに切り替え、生地の色数も増やす。グループ約千二百店舗で取り扱い、八月まで五万枚の販売を目指す。

### 春つららかな書房



福井市内の倉庫には常時 800 万冊以上のコミックを在庫

は一九九四年。ある日、沖繩から一万冊以上も買い付けに来た客がいたので、事情を聞くと店内で漫画を自由に読ませる「マンガ喫茶」

二〇〇〇年代に入り急速に店舗数を増やした複合カフェ。業界の急成長を支えるのが、独自にマンガ単行本（コミック）の卸売り流通網を切り開く、春つららかな書房（福井市）だ。店舗の開業ごとに二万冊以上のコミックを納入する同社の圧倒的な調達力抜きには、複合カフェ業界の隆盛はなかったかもしれない。

## 勝負で新発想

来店客の約六割が手を伸ばすといわれるコミックとを売り物にする複合カフェにとり、欠巻は他店に客を奪われる要因になりかねない。店内でじっくり楽しめる環境を整えれば滞在時間が延び、客単価の向上にもつながる。春つららかな書房は全国の古書業者と書籍取次からコミックを大量に仕入れ、複合カフェ向けに卸す。店舗規模により異なるが、複合カフェを開業するには二万五千冊前後のコミック

## 複合カフェにコミック大量納入

が必要とされる。絶版となり入手困難となった本でも、全国規模で五百にものぼる取引先から一巻単位で買い付けて納入する。道下昌亮社長はそんなマンガ喫茶の成長の可能性を直感。四年後

## 全国に仕入れ網、欠巻防止

《企業概要》  
1985年3月 福井市上中町49-1  
5800万円 23億 960万円 (2008年3月期)  
29人 29人  
コミックの卸売りネット  
業、書籍販売  
立地金高  
在 本 上  
設 所 資 産  
業 員 数  
主 事 業  
内 容  
生 活 道 路 決 め だ 。

マンガ喫茶が発展し、現在では複合カフェと呼ばれるようになった。同社の強みは新古書店時代から培ってきた調達力だけではない。仕入れてきたコミックを丁寧に磨き上げ、必要とあらばセキュリティータグも付ける。店舗は届けられたコミックを本棚に並べるだけでなく、同社は、次の成長戦略を模索している。

（渡辺淳）

サービス&エンターテインメント